

アデレード年次会合 専門家プログラム

日時	William Magarey East	William Magarey West	Ian McLachlan East	Ian McLachlan West	Leigh Whicker Room	SANFL Chairman's Room
10月22日 (火)						
8:30-9:00	歓迎の挨拶					
9:00-9:30	開会式／共催者(Ancestry/Quinton Atkinson)挨拶					
9:30-10:15	基調講演 Michelle Caswell (アメリカ/UCLA准教授)					
11:00-11:30	主催者挨拶 Teressa Ward (オーストラリア国立公文書館)					
11:30-12:30	Loris Williams記念講演 (アボリジニの言語・音楽研究国立センター、アデレード大学)					
12:30-13:30	(昼食休憩)					
13:30-15:00	セッション：革新・再デザイン・デジタルインシアチブを通じてアーカイブズへのアクセスを促進する ・Timoci Balenaivalu (フィジー国立公文書館) ・Jeff James (イギリス国立公文書館) ・Mijeoung Kim (韓国国家記録院)	セッション：記録管理を設計する ・Hamed Al Hinai (オマーン国立公文書館) ・Alexander Barquero (コスタリカ国立公文書館) ・Richard Foy, Denis Williams (ニュージーランド国立公文書館)	セッション：先住民コミュニティとの共同による設計 ・Lauren Booker, Kirsten Thorpe (オーストラリア/シドニー工科大学) ・Kimbaerly Christen (アメリカ/ワシントン州立大学) ・Monica Galassi (オーストラリア/ニュー・サウス・ウェールズ州立図書館)	セッション：アーカイブズの行動主義とソーシャルメディアの記録 ・Blanca Bazaco (スペイン/マドリッド区アーカイブズ副総局) ・Valerie Love (ニュージーランド国立図書館) ・Vicencç Ruiz-Gómez (スペイン/カタルーニャ・アーキビスト協会)	ワークショップ／インタラクティブ・セッション：PARBICAの記録管理のためのガバナンス・ツールキット ・Lillie Le Dorre, Talei Masters (ニュージーランド国立公文書館)	ワークショップ／インタラクティブ・セッション：限られた予算でアウトリーチ活動を行う ・Claude Roberto (ICA) ・Jenny Scott (南オーストラリア州立図書館) ・Odile Welfelé (フランス国立公文書館)
15:45-17:15	セッション：革新の操縦者としてユーザ中心のデザインを考える ・Mike Jones (オーストラリア国立大学) ・Espen Sjøvoll (ノルウェイ国立公文書館) ・Michael Smith, Janet Villata (シドニー市) ・Deb Verhoeven (オーストラリア/シドニー工科大学)	セッション：次世代のデジタル・アーカイブ ・Mark Crookston (ニュージーランド国立図書館) ・Somaya Langley (イギリス/ケンブリッジ大学図書館) ・Kathryn Dan (オーストラリア国立公文書館)	セッション：周縁化されたコミュニティと亡命者のための研究と提唱 ・Kathy Carbone (アメリカ/UCLA) ・Susan McKemmish, Gregory Rolan (オーストラリア/モナシュ大学)	セッション：パプアニューギニア・サモア・ツバルにおけるアーカイブズ、言語、図書館の将来的発展 ・Tukul Kaiku, Kakaito Kasi, Vicky Puipui (PNG国立公文書館) ・Noa Petueli Tapumanaia (ツバル国立図書館公文書館) ・Amela Silipa (サモア/教育・スポーツ・文化省)		
17:30-19:30	ICA通常総会					
10月23日 (水)						
8:45-10:15	セッション：新しい学問の世界のためのデジタル化 ・Mamad Al Mutari (UAE国立公文書館) ・Tassadaque Hussain (インド国立公文書館) ・Louis Gilles Pairault (フランス国立公文書館)	セッション：「設計段階における言葉：アーカイブズ記述の課題」 ・Julie Fenley(カナダ/ビクトリア大学) ・Kirsten Wright(オーストラリア/メルボルン大学) セッション：日本におけるアーカイブズ専門職の全国的枠組みを構築する ・中田昌和 (日本国立公文書館)	セッション：問合せの事前・事中・事後：持続的対応 ・Belinda Battley (ニュージーランド・アーキビスト協会) ・Joanne Evans, Gregory Rolan, Seren Wendelken (オーストラリア/モナシュ大学)	セッション：アーカイブズをつづじた文化的持続性とセキュリティ ・Harry Bawono, Rayi Darmagara, Rio Admiral Parikesit (インドネシア国立公文書館) ・Bronia Kornhauser, Anthea Skinner (オーストラリア/モナシュ大学) ・Ike Iswary Lawanda (インドネシア大学)		セッション：国立公文書館の和解と非植民地化 ・Normand Charnonneau(カナダ国立図書館公文書館) ・Richard Foy(ニュージーランド国立公文書館) ・David Fricker(オーストラリア国立公文書館) ・Inga Marja Steinfjel(ノルウェイ/サミ公文書館)
11:00-11:45	基調講演 Elizabeth Shepherd (イギリス/ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン)					
11:45-12:30	基調講演 Marek Kowalkiewicz (オーストラリア/クィーンズランド工科大学)					
12:30-13:30	国立公文書館長フォーラム昼食会 (Oval Suite One) (~14:00)					
13:30-15:00	セッション：デジタル化戦略 ・Inga Bolstad (ノルウェイ国立公文書館) ・Ann Hardy (オーストラリア/ニューカッスル大学) ・Detlev Lueth (オーストラリア国立公文書館)	国立公文書館長フォーラム ・Jeff James FAN会長あいさつ ・14:05-16:15 ワークショップ 「共有アーカイブ遺産における表層的なプロベナンス(出所)情報」	ワークショップ：アーカイブズの売り方 ・Ljetil Kandrog (ノルウェイ/アーカイブズ協会) ・Patricia Whatley (イギリス/ダンディー大学)	セッション：真実と和解への道：カナダ、リベリア、ニュージーランドの事例 ・Talei Masters (ニュージーランド国立公文書館) ・Proscovia Svärd (中部スウェーデン大学) ・Raegan Swanson (カナダ/レズビアン・ゲイ・アーカイブズ)	セッション：コンテキストの多様性：アクセスへの障害となる植民地化、言語、立地 ・Kylie Moloney (オーストラリア/アボリジニー・トレストレイト島研究機構) ・Noa Petueli Tapumanaia (ツバル国立図書館公文書館) ・Isabel Schellnack-Kelly (南アフリカ大学)	セッション：文化と言語の活性化のための口承文学とクラウドソーシング ・Anna Blackman (ニュージーランド/オタゴ大学) ・Jian Chen (中国・山東大学/オーストラリア・モナシュ大学) ・Yujiao Du (中国/中山大学)
15:45-17:15	セッション：アーカイブズ利用者の変化：紙からデジタルへ (そして紙への回帰) ・Linlin Du (中国国家档案局) ・Kate Follington, Julie McCormack, Owen O'neill (オーストラリア/ビクトリア州公文書館) ・Brenda Gunn (アメリカ/バージニア大学図書館)	・16:15-16:45 「危機にあるアーカイブズ資料の避難所」 Didier Grange / David Sutton ・「国立公文書館のためのアーカイブズ・モデルの再適用化」 Carey Garvie / Robyn Gamble (オーストラリア国立公文書館)	セッション：変革する政治的コンテキストにおける北大西洋及び北欧のアーカイブズを再定義する ・Sámal Tróndur Finnsson Johansen (フェロー諸島国立公文書館) ・Ole Gausdal (ノルウェイ国立公文書館) ・Grete Gunn Bergstrøm (ノルウェイ/サミ公文書館) ・Inge Høst Seiding (グリーンランド国立博物館公文書館) ・Hrefna Róbertsdóttir, Njörður Sigurðsson (アイスランド国立公文書館)	セッション：記録作成者をprocessに巻き込む ・Karuna Bhoday (オーストラリア国立公文書館) ・Anne-Flore Laloë (欧州分子生物学研究所) ・Wout Van der Reijden (オランダ国立公文書館)	セッション：アーカイブズにおける奴隷化：所蔵資料にある気まづいコレクションを管理する ・Emilie G Illeumas (アメリカ/ニューオーリンズ教区アーカイブズ)	セッション：文化の中心にあるアーカイブズ：設計段階から先住民コミュニティの知識を集中させる ・Wayne Barker, Merle Carter (キンバリー・アボリジニの法と文化研究所) ・Annelie De Villiers (オーストラリア/モナシュ大学) ・Augustine Tevimule (バヌアツ国立公文書館)

日時	William Magarey East	William Magarey West	Ian McLachlan East	Ian McLachlan West	Leigh Whicker Room	SANFL Chairman's Room
10月24日 (木)						
8:30-9:15	基調講演 ・Camille Callison (マニトバ大学)					
9:30-10:15	セッション：ライトニング・トーク ・Catherine Elliott (イギリス国立公文書館) ・Zane Metcalfe (オーストラリア/ニューカッスル大学) ・Elizabeth Nichol (ニュージーランド/オークランド大学) ・Yuexin Shi (中国/武漢大学)		New Professionalsプログラム会合	セッション：ライトニング・トーク ・Julie Collins (南オーストラリア・建築博物館) ・Bingyang Li, Niu Li, Yongjun Xu, Xuenan Zhang (中国/人民大学)	セッション：ローテクのデジタル・コミュニティ・アーカイブを共同設計する ・Leisa Gibbons (オーストラリア/カーティン大学) ・Jessica Moran (ニュージーランド国立図書館)	セッション：質のいい対面型研修・オンライン学習を開発・提供する ・Margaret Crockett (ICA研修担当官) ・Monique Nielsen (オーストラリア政府Go Digitalプロジェクト)
11:00-12:30	セッション：国立公文書館の新しい考え方 ・Tatiana Antsoukova (オーストラリア国立公文書館) ・Toivo Jullinen (エストニア国立公文書館) ・Kevin Wong (シンガポール国立公文書館)	セッション：アーカイブ空間とアーカイブの設計についての新しい考え方 ・Peter Lester (イギリス/レスター大学) ・Odile Welfel� (フランス国立公文書館)	セッション：先住民の知識―アーカイブの実務における変革の引き金 ・Julie Fenley (カナダ/ビクトリア大学) ・Raymond Frogner (カナダ/先住民研究センター) ・Gavan McCarthy (オーストラリア/メルボルン大学) ・Jennifer O'Neal (アメリカ/オレゴン大学)	セッション：建築と設計のアーカイブズ ・Chris Burns, Christine Garnaut (南オーストラリア大学) ・Jenny Fewster, Julie Holledge (オーストラリア/プリンダース大学) ・Kevin Forkan (香港M+)		
12:30-13:30	(昼食休憩)					
13:30-15:00	セッション：実験：新しい技術とアーカイブズ ・Kuldar Aas (エストニア国立公文書館) ・Jenny Kidd, Josephine Marsh (オーストラリア/クィーンズランド州アーカイブズ) ・Mette Van Essen (オランダ国立公文書館)	セッション：データとしてのアーカイブズ：機会とリスク ・Simon Froude (南オーストラリア州レコード・オフィス) ・Anne Lyons (オーストラリア/戦略的政策研究所) ・Shin-Chung Shao (台湾/国家アーカイブズ記録管理局)	セッション：アーカイブズとデジタル化：文化・言語の保存における役割 ・Grete Gunn Bergstr�m (ノルウェイ/サミ・アーカイブズ) ・Ellen R�sj� (ノルウェイ国立公文書館) ・Hemi Jury (ニュージーランド/マオリ・太平洋州サウンド・アーカイブ) ・Kathryn Lagrandeur (カナダ国立図書館公文書館)	セッション：トラウマ・インフォームド・アーカイブズ (アーキビスト) を設計する ・Jennifer Douglas (カナダ/プリティッシュ・コロンビア大学) ・Michaela Hart (オーストラリア/ビクトリア州健康・人的サービス局) ・Nicola Laurent (オーストラリア/メルボルン大学) ・Proscovia Sv�rd (中部スウェーデン大学)	セッション：FIDA：アーカイブズ発展のサポーター ・Brandon Oswald (島嶼文化アーカイブズ・サポート) ・Noa Petueli Tapumanaia (ツバル国立図書館公文書館)	セッション：地域・自治体アーカイブズにおける設計時からのアクセシビリティ ・Tsari Anderson, David Taylor (オーストラリア/ビクトリア州レコード・オフィス) ・Soren Bitsch Christensen (デンマーク/アース市公文書館)
15:45-17:00	SPA (専門職団体に掛かる専門セッション) フィルム賞 授賞式 閉会式					

10月25日 (金) ワークショップ

日時	南オーストラリア州図書館				南オーストラリア州博物館
	会場 1	会場 2	会場 3	会場 4	
9:00-9:30					
9:30-13:00	リサーチデータ管理 ・Alexis Tindall, LizStokes (オーストラリア・リサーチ・データ・コモンズ)	物語の価値を語る：アーカイブズのための文化の価値を活性化 ・Tully Barnett, Heather Robinson (オーストラリア/フィンダース大学)	業務資産としての情報管理の限界と利益 ・James Price (エクスペリエンス・マターズ)	PARBICA:災害対策ワークショップ ・Emilie G Leumas (ニューオリンズ教区アーカイブズ) ・Brandon Oswald (島嶼文化アーカイブズ・サポート)	ユーザー中心のデジタルアーカイブを設計する ・Catherine Elliott, Jenifer Klepfer (イギリス国立公文書館)
13:30-17:30	総合的災害対策計画を策定 ・Heather Brown (南オーストラリア州立図書館) ・Vhristine Ianna (オーストラリア/クィーンズランド州立図書館)	アーカイブズは国連SGD2030にどう貢献できるか ・Jo Hanisch, Helen Walker (オーストラリア国立公文書館)			